

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森桂木校			
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 29 日		～	2025 年 12 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 29 日		～	2025 年 12 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 1 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様等の情報共有が職員間でしっかりとされていること。	利用者様の情報共有をケース会議や記録、空き時間等で行っている。	今後も情報共有をしっかりと行い、抜けがないようにする。また、記録をしっかりとるようにし、聞いていない職員がいないようにする。
2	職員全員が専門的な資格を持ち、支援を行っていること。	情報共有を行う際に、専門的な話も交えながら話し合うようにしている。	自分の持っている資格からの専門性だけでなく、他職員から知識を習得して支援に活かしていくようにする。
3	体を動かす活動や小集団療育をするスペースがあること。	粗大運動を取り入れたり、必要に応じてパーテーションを取り払って活動を行っている。	空間を上手に活用して（パーテーション等の配置の工夫、プログラムの工夫等）様々な粗大運動や小集団療育を行っていくようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の空間が広いこと（開放的なため集中が難しい利用者様がいる）。	ワンフロアのため。	パーテーションの活用や、奥の部屋を個室のように使用するなど、利用者様によって対応を検討していく。
2	保護者様同士の交流の機会が少ないこと。	個別支援なので、同時刻で会う保護者様が少ないため。以前のファミかふえのような計画等を行えなかったため。	保護者様からアンケート等を取り、希望している保護者様向けの企画を検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森桂木校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

14 (家庭数12)

回収数

11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1	0	1		今後、職員数を増やしていく予定となっております。何かご要望等ございましたら、お話しください。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0	専門がよくわかりません。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	0	0		支援内容に取り入れてほしいものがありましたら、いつでもお話しください。一緒に考えていきたいと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	1	6	児童館へ行かなくなったので、最近はあまりないです。	1時間の療育の中で交流等は難しいです。もし関係機関との連携会議等のご希望がございましたら、遠慮なくご相談ください。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1	1		クラ・ゼミ内外の研修等のお知らせは、待合ブースに掲示等しておりますので、よろしければご覧ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	2	0		普段フィードバックとモニタリングの時間が面談の時間となります。もし面談のご希望がございましたら、いつでもお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	2	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	1	2		クラ・ゼミの職員について等もし何かありましたら、遠慮なくお話しください。また、お子様についてのご相談等は、児発管や指導員等、話しやすい職員にお話ししていただけたらと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1	0		Instagramやブログ等行っています。よろしければご覧ください。また、今回の自己評価等は事業所HPにアップしますので、そちらもご覧いただけたらと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	2		待合ブースにファイリングをして掲示していますので、そちらをご覧ください。また、毎月避難訓練を行っています。こちらも掲示していますので、よろしければご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	1	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	2	0	2		開所から今まで、事故等は発生しておりません。今後事故等が発生した際には、速やかな連絡と事故発生時の状況の説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	1	0	0	嫌がることなく安心していると思います。 ⇒ありがとうございます。	今後も安心して通っていただけるような関係づくりと支援の提供を行っていききたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	1	0	とても楽しみにしています。 ⇒ありがとうございます。	今後も楽しんで通っていただけるよう、興味を持って取り組める教材等工夫していききたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	0	満足しています。お世話になります。ありがとうございます。よろしく願います。 ⇒ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。	いつもお忙しい中通ってきてくださり、ありがとうございます。今後も保護者様といっしょにお子様の成長をサポートしていきたいと思しますので、これからもよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森桂木校		2026 年 2 月 14 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○	受け入れ人数を調整して運営を行っています。 急な休みや会議等で職員数が足りない場合は、他校舎の職員に来ていただくことがあります。	シフト制のため、日によって受け入れ人数に限りがあり、利用者様の希望日時に添えないことがあります。 今後職員数を増やし、対応していきたいと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援ブースは刺激になるようなものは少なくし、隣のブース間には仕切りを設けて集中できるようにしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な清掃、加温、換気を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		年2回、目標立て、振り返り、上司との面談を行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からの事業所評価（ご意見）をみんなで共有し、会議を開いています。	今回いただいたご意見を業務改善に繋げたいと思います。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価はいただいていませんが、内部で他県や周りの事業所職員から評価をいただいています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に多様な分野の研修を行っています。 また、研修の際にランダムで司会や書記が割り振られるため、それらの能力向上にも繋がっています。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに記載、行政にも提出しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング後にケース会議を開き、情報共有をするともに、個別支援計画を作成しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を作成後、職員会議を開き、確認を行っています。また普段すぐに個別支援計画を見れるようにファイリングしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	保護者様との情報共有はできていますが、実際に日常場面の観察までできていません。	今後も保護者様と連携をはかり、お子様一人ひとりの様子等をしっかり把握していきたいと思います。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		情報共有を心掛け、一貫した支援を行うようにしています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		担当職員が一人の場合、支援に偏りが出る恐れがある為、複数担当にしています。また、楽しんで支援を受けられるように毎回工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前回は口頭や記録等で共有しています。また、気を付けた方がよいこと等あった場合は、共有・相談を密に行うようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		ケース会議や空き時間、社内ツールを使用して情報共有を行っています。	今後も情報共有は徹底していきたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		各職員が互いの支援記録等を見て、児童の状況を確認しています。	今後も支援の検証、改善に繋げられるような記録をとってまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングは職員全員で確認を行い、今後の課題を話し合っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年間計画や行事予定等は保護者様からの情報で把握しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			保護者様からのご希望がありましたら、情報共有を行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		保護者様からのご希望がありましたら行います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご希望があれば相談支援を行っています。	今後も研修等の情報を提供していきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご希望に応じて相談支援を行っています。	今後も相談支援を行い、保護者様といっしょに悩み、成長していけたらと思います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今年度は保護者様同士の交流の場を提供できませんでした。以前行ったファミカふえ等の交流の場をまた提供したいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram、ブログ等を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	提携している発達支援研究所の講演会をご案内しています。また、今年度は青森市でも開催することができました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事提供を行っていません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			